### <小学校低学年の部>応募総数:45

	学校名	学年	氏	名	題名
最優秀	下川口小学校	1年	近藤	心雪	「やさしいかいじゅう」をよんで
優秀	幡陽小学校	1年	西村	唯那	「まよなかのたんじょうかい」をよんで
	幡陽小学校	2年	岡林	敬鑑	「じしんのえほん」を読んで
	下ノ加江小学校	1年	江口	裕翔	「むしのあいうえお」をよんで
	下ノ加江小学校	1年	藤澤	然一	「しまひきおに」をよんで
入 選	下川口小学校	1年	川村	尚己	「おじいちゃんのごくらくごくらく」をよんで
	三崎小学校	2年	濱地	宇宙	マンティスやさしいね
	下川口小学校	2年	公文	匠	「キタキツネのあかちゃん」を読んで

#### 【審査評】

- ・応募作品が少なかったので、次年度からはできるだけ取り組みに参加して欲しい。
- ・人名や、固有名詞が入っていて気になる作品があった。
- ・低学年らしい感想や文章表現があり、ほほえましく感じた。
- ・生活体験が多く含まれ、「感想文」というよりも「作文」になっている作品があった。
- ・中に、丁寧な文字で一生懸命取り組んでいる作品もあり、日頃の読書活動の成果がうかがえた。

### <小学校中学年の部>応募総数:98

	学校名	学年	氏 名	題名
最優秀	足摺岬小学校	4年	鳥谷 采世	「しばてん」を読んで
優秀	下ノ加江小学校	4年	永野 陽葵	「イシガメの里」を読んで
<b>漫</b>	下川口小学校	3年	岡田 昂大	「エルマーのぼうけん」を読んで
	下川口小学校	4年	黒田 愛美	「いじめ、暴力克服」を読んで
	清 水 小 学 校	3年	溝渕 小夏	「せんそうはだめ」
入 選	幡陽小学校	4年	岡林明日美	「ココロ屋」を読んで
	中浜小学校	3年	武田 杏乃	「みんなだいじななかま」を読んで
	足摺岬小学校	4年	川久保和	「花さき山」を読んで

#### 【審査評】

- ・自分の体験したことを多く書けていた。
- ・1つの文章が1ページ以上続いていて読みづらい作品があった。
- ・子どもの素直な表現で書かれてあるのは好感が持てるが、大人の感覚で表現しているような作品も見られた。
- ・誤字のある作品や、最後まで書ききれていないような作品もあった。
- ・学校によっては、読書の幅に片寄りがみられたように感じた。

### <小学校高学年の部>応募総数:61

	学校名	学年	氏 名	題名
最優秀	下川口小学校	6年	酒井 菜緒	「永遠の夏休み」とは
優秀	清 水 小 学 校	6年	角田 七海	「戦争がなくなることを願って」
<b>漫</b>	足摺岬小学校	5年	福山 修都	「しっぽをなくしたイルカ」を読んで
	清 水 小 学 校	6年	中久保純	「自分の信じた道を進め」
	幡陽小学校	5年	白川鯉太郎	「命かがやけタイガとココア」を読んで
入 選	中浜小学校	5年	田村 彩乃	「精霊の守り人」を読んで
	窪津小学校	6年	山本 妃菜	若おかみは小学生!を読んで
	下ノ加江小学校	6年	矢野里緒菜	負けてたまるか

#### 【審査評】

・今年度は、高学年の内容に、物語があったり、ノンフィクションがあったりで、 読んでいる本に読書の幅が感じられました。

これからも、いろいろなジャンルの本を読んでほしいと思います。

書き出しの工夫がある学校もあり、指導のあとが伺えました。

高学年は、枚数も満たしていないと、思いも伝わりにくいです。

自分の思いや感動をしっかりと書いてほしいです。

#### <中学校の部>応募総数:9

	学校名	学年	氏 名	題名
最優秀	清 水 中 学 校	1年	北代 愛紀	階段途中のサッカー部
優秀	清 水 中 学 校	3年	山下 怜玖	星磨きのウサギとケ・セラ・セラ
後 方	清 水 中 学 校	1年	早川 佳音	本当の友達
	清 水 中 学 校	1年	井ノ上さくら	旅する五匹の猫
入選	清 水 中 学 校	1年	沖田 千乃	見習え!マリー!
	清 水 中 学 校	1年	新谷 愛美	愛と戦争

### 【審査評】

・感想の中に、自分の考えや、生活がみえる作品が多くあり、読書で成長した姿がうかがえました。また、あらすじなども、すっきりとまとめられていました。 反面、登場人物の心情や作品のテーマの読みとりが弱いような印象をうけました。 読書で受けた感動がどういったところから生じたのか、ゆっくり考える時間がもてるといいですね。

これからも、読書を楽しんでください。

### <高等学校の部>応募総数:4

		学校名	学年	氏 名	題名
優	秀	清水高等学校	2年	尾崎 智彩	『群青に沈め』を読んで
入選		清水高等学校	2年	山下 佳子	『じっとみつめる』人になる
	選	清水高等学校	1年	大西 辺留	『ラブ・スターガール』を読んで
		清水高等学校	1年	田村 木綿	人と人とのつながり

## 【審査評】

- ・それぞれの作品において、本の内容や登場人物、時代背景などを自分に当てはめて考えたり、
- そこから読みとったメッセージに対する思いを述べたりして、主体的に本に向き合う姿勢が見られます。
  - 本を通して自分の視野や価値観を広げ、豊かな読書体験ができていると思います。